

平成 30 年度

国立大学附属学校園の実態調査

〈基本調査〉

日本教育大学協会企画・調査研究委員会
国立大学附属学校の在り方検討ワーキンググループ

平成 30 年 12 月

I - 1 基本調査

1 附属学校園を有する会員、および附属学校園の規模（平成30年5月1日現在）

合計：54大学・学部、255附属学校園

※教員数は、学校基本調査における「本務者」の定義に基づく専任の教員数

地区	大学・学部名			幼稚園			小学校			中学校			高等学校			特別支援学校					
	園児数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数	生徒数	学級数	教員数	生徒数	学級数	教員数	園児・児童・生徒数	学級数	教員数						
北海道	北海道教育大学																				
	附属旭川幼稚園	65	3	6	附属旭川小学校 (特別支援学級3クラス19名を含む)	435	15	22	附属旭川中学校 (特別支援学級3クラス24名を含む)	345	12	23	附属特別支援学校 (小学部3クラス17名、中学部3クラス16名、高等部3クラス24名)			57	9	28			
	附属函館幼稚園	69	3	5	附属函館小学校	430	12	18	附属函館中学校	318	9	16									
					附属釧路小学校	359	12	18	附属釧路中学校	307	9	18									
				附属函館小学校	402	12	17	附属函館中学校	316	9	17										
東北	弘前大学教育学部																				
	附属幼稚園	73	4	6	附属小学校	552	21	31	附属中学校	484	15	31	附属特別支援学校			53	9	30			
	岩手大学教育学部																				
	附属幼稚園	101	5	8	附属小学校	609	21	28	附属中学校	459	12	22				附属特別支援学校 (小学部3クラス、中学部3クラス、高等部3クラス)			59	9	28
	宮城教育大学																				
	附属幼稚園	149	5	7	附属小学校	704	24	35	附属中学校	474	12	23				附属特別支援学校			58	9	32
	秋田大学教育文化学部																				
	附属幼稚園	88	4	7	附属小学校	555	18	35	附属中学校	441	12	26				附属特別支援学校			61	9	31
	山形大学																				
	附属幼稚園	99	4	6	附属小学校	592	19	28	附属中学校	406	12	25				附属特別支援学校			54	9	30
福島大学																					
附属幼稚園	60	3	4	附属小学校	624	20	32	附属中学校	413	12	24	附属特別支援学校			52	9	33				
関東	茨城大学教育学部																				
	附属幼稚園	98	5	6	附属小学校 (複式学級1)	622	19	27	附属中学校	461	12	23	附属特別支援学校			54	9	29			
	筑波大学																				
				附属小学校	800	24	36	附属中学校	600	15	30	附属高等学校	720	18	42	附属視覚特別支援学校	252	37	89		
				附属駒場中学校	360	9	16	附属駒場高等学校	480	12	29	附属聴覚特別支援学校	277	41	86						
				附属坂戸高等学校	480	12	44	附属大塚特別支援学校	76	13	38										
				附属桐が丘特別支援学校	141	31	68														
				附属久里浜特別支援学校	54	18	34														
	宇都宮大学教育学部																				
	附属幼稚園	157	5	7	附属小学校	622	18	26	附属中学校	463	12	23	附属特別支援学校			58	9	28			
群馬大学教育学部																					
附属幼稚園	139	5	10	附属小学校	602	18	30	附属中学校	405	12	24	附属特別支援学校			53	9	32				
埼玉大学教育学部																					
附属幼稚園	80	3	6	附属小学校	628	18	27	附属中学校	513	12	27	附属特別支援学校			59	9	32				
千葉大学教育学部																					
附属幼稚園	140	5	7	附属小学校 (帰国児童学級3クラスを含む)	638	21	36	附属中学校 (帰国生35名を含む)	455	12	29	附属特別支援学校			53	9	27				
東京大学教育学部																					

地区	大学・学部名																				
	幼稚園	園児数	学級数	教員数	小学校	児童数	学級数	教員数	中学校	生徒数	学級数	教員数	高等学校	生徒数	学級数	教員数	特別支援学校	園児・児童・生徒数	学級数	教員数	
関東	東京学芸大学																				
	附属幼稚園小金井園舎	149	6	9	附属世田谷小学校	612	18	26	附属世田谷中学校	459	12	22	附属高等学校	984	24	57	附属特別支援学校	71	11	35	
	附属幼稚園竹早園舎	57	2	3	附属小金井小学校	617	18	29	附属小金井中学校	459	12	23									
					附属大泉小学校 (帰国クラス3年～6年各1)	576	22	39	附属竹早中学校	463	12	23									
					附属竹早小学校	410	12	19													
	東京藝術大学音楽学部																				
													附属音楽高等学校	122	3	13					
	お茶の水女子大学																				
	附属幼稚園	149	6	10	附属小学校 (帰国児童教育学級3クラス)	633	21	32	附属中学校 (帰国生徒教育学級3クラス)	346	12	25	附属高等学校	361	9	25					
	横浜国立大学教育学部																				
				附属鎌倉小学校	621	18	24	附属鎌倉中学校	513	12	24						附属特別支援学校	71	9	29	
				附属横浜小学校	642	18	28	附属横浜中学校	404	9	20										
山梨大学教育学部																					
附属幼稚園	84	4	7	附属小学校	609	18	25	附属中学校	477	12	24						附属特別支援学校	51	9	29	
新潟大学教育学部																					
附属幼稚園	70	3	5	附属新潟小学校	456	15	23	附属新潟中学校	353	9	17						附属特別支援学校	62	9	29	
				附属長岡小学校	385	12	19	附属長岡中学校	357	9	17										
上越教育大学																					
附属幼稚園	69	3	5	附属小学校	411	12	19	附属中学校	352	9	18										
富山大学人間発達科学部																					
附属幼稚園	97	5	6	附属小学校	419	12	18	附属中学校	476	12	23						附属特別支援学校	60	9	29	
北陸 金沢大学人間社会学域学校教育学類																					
附属幼稚園	107	5	7	附属小学校	655	20	28	附属中学校	477	12	23	附属高等学校	372	9	23	附属特別支援学校	60	9	29		
福井大学教育学部																					
附属幼稚園	117	6	8														附属特別支援学校	60	9	34	
信州大学教育学部																					
附属幼稚園	93	5	7	附属長野小学校	440	12	16	附属長野中学校	602	15	24						附属特別支援学校	53	9	26	
				附属松本小学校	428	12	16	附属松本中学校	475	12	20										
岐阜大学教育学部																					
				附属小学校 (特別支援学級：児童19名、学級3クラス、教員4名)	644	21	29	附属中学校 (特別支援学級：生徒24名、学級3クラス、教員3名)	504	15	27										
静岡大学教育学部																					
附属幼稚園	113	5	7	附属静岡小学校	597	18	26	附属静岡中学校	463	12	21						附属特別支援学校	59	9	29	
				附属浜松小学校	414	12	18	附属浜松中学校	346	9	17										
								附属島田中学校	347	9	17										
愛知教育大学																					
附属幼稚園	137	6	7	附属名古屋小学校	658	20	35	附属名古屋中学校	460	12	31	附属高等学校	597	15	34	附属特別支援学校	62	9	29		
				同上(帰国子女学級)	18	3	-	同上(帰国子女学級)	30	3	-										
				附属岡崎小学校	598	18	25	附属岡崎中学校	460	12	26										
三重大学教育学部																					
附属幼稚園	120	5	8	附属小学校	583	18	26	附属中学校	429	12	27						附属特別支援学校	50	9	29	

地区	大学・学部名																			
	幼稚園	園児数	学級数	教員数	小学校	児童数	学級数	教員数	中学校	生徒数	学級数	教員数	高等学校	生徒数	学級数	教員数	特別支援学校	園児・児童・生徒数	学級数	教員数
近畿	滋賀大学教育学部																			
	附属幼稚園	129	5	8	附属小学校	615	18	26	附属中学校	346	9	20					附属特別支援学校	55	9	30
	京都教育大学																			
	附属幼稚園	134	5	9	附属桃山小学校	423	12	20	附属桃山中学校 (帰国生徒教育学級3クラス含む)	390	12	27	附属高等学校	584	15	37	附属特別支援学校	71	9	32
	大阪教育大学																			
	附属幼稚園	149	6	10	附属天王寺小学校	620	18	26	附属天王寺中学校	463	12	23	附属高等学校 (休学1名を含む)	1344	33	83	附属特別支援学校	54	9	31
					附属池田小学校	609	18	27	附属池田中学校	464	12	22								
					附属平野小学校	626	18	27	附属平野中学校	347	9	20								
	兵庫教育大学																			
	附属幼稚園	103	6	8	附属小学校	485	18	27	附属中学校	329	9	18								
	神戸大学																			
	附属幼稚園	118	6	7	附属小学校	408	12	20									附属特別支援学校	52	9	34
奈良教育大学																				
附属幼稚園	122	5	9	附属小学校 (特別支援学級を含む)	534	21	34	附属中学校 (特別支援学級を含む)	450	15	28									
奈良女子大学																				
附属幼稚園	139	6	8	附属小学校	401	12	17													
和歌山大学教育学部																				
				附属小学校	572	21	31	附属中学校	420	12	24					附属特別支援学校	58	9	31	
鳥取大学																				
附属幼稚園	71	4	6	附属小学校	385	12	18	附属中学校	404	12	24					附属特別支援学校	50	5	31	
島根大学教育学部																				
附属幼稚園	55	3	7	附属小学校	354	12	20	附属中学校	417	12	27									
岡山大学教育学部																				
附属幼稚園	144	6	8	附属小学校	623	18	32	附属中学校	535	15	32					附属特別支援学校	57	9	29	
広島大学																				
附属幼稚園	76	3	5	附属小学校	377	12	19	附属中学校	368	9	17	附属高等学校	606	15	39					
附属三原幼稚園	77	3	5	附属東雲小学校	429	18	27	附属東雲中学校	254	9	19	附属福山高等学校	601	15	38					
				附属三原小学校	374	12	18	附属三原中学校	236	6	13									
								附属福山中学校	366	9	19									
山口大学教育学部																				
附属幼稚園	106	5	7	附属山口小学校	401	12	21	附属山口中学校	419	12	24					附属特別支援学校 (小学部2クラス8名、教員5名、中学部3クラス13名、教員9名、高等部3クラス22名、教員11名)	43	8	25	
				附属光小学校	357	12	19	附属光中学校	249	9	17									

地区	大学・学部名																			
	幼稚園	園児数	学級数	教員数	小学校	児童数	学級数	教員数	中学校	生徒数	学級数	教員数	高等学校	生徒数	学級数	教員数	特別支援学校	園児・児童・生徒数	学級数	教員数
四国	鳴門教育大学																			
	附属幼稚園	130	5	7	附属小学校	590	18	27	附属中学校	442	12	27					附属特別支援学校	59	9	32
	香川大学教育学部																			
	附属幼稚園	75	3	5	附属高松小学校	613	19	26	附属高松中学校	346	9	21					附属特別支援学校	60	9	29
	附属幼稚園高松園舎	60	2	2	附属坂出小学校	414	12	18	附属坂出中学校	344	9	19								
四国	愛媛大学教育学部																			
	附属幼稚園	130	6	8	附属小学校	567	18	28	附属中学校	445	12	23	愛媛大学附属高等学校	365	9	38	附属特別支援学校	59	9	28
四国	高知大学教育学部																			
	附属幼稚園	107	5	6	附属小学校	653	21	31	附属中学校	409	12	23					附属特別支援学校 (小学部3クラス19名、教員8名、中学部3クラス17名教員9名、高等部3クラス24名、教員10名、副校長、養護教諭)	60	9	29
九州	福岡教育大学																			
	附属幼稚園	53	3	6	附属福岡小学校 (特別支援学級3クラス・帰国子女学級3クラス含む)	447	18	26	附属福岡中学校 (特別支援学級3クラス含む)	367	12	21								
					附属小倉小学校	419	13	18	附属小倉中学校	357	9	17								
					附属久留米小学校	420	12	18	附属久留米中学校	360	9	17								
	佐賀大学教育学部																			
	附属幼稚園	77	3	6	附属小学校	613	18	25	附属中学校	459	12	24					附属特別支援学校	60	9	29
	長崎大学教育学部																			
	附属幼稚園	132	5	8	附属小学校	567	21	30	附属中学校	426	12	25					附属特別支援学校 (教員数には育児休業者1名を含む)	53	9	28
	熊本大学教育学部																			
	附属幼稚園	132	5	6	附属小学校	648	18	25	附属中学校	479	12	22					附属特別支援学校	61	9	31
大分大学教育学部																				
附属幼稚園	136	5	8	附属小学校	623	18	26	附属中学校	476	12	22					附属特別支援学校	51	9	30	
宮崎大学教育学部																				
附属幼稚園	108	5	9	附属小学校 (特別支援学級3クラス含む)	606	21	31	附属中学校 (特別支援学級3クラス含む)	488	15	28									
鹿児島大学教育学部																				
附属幼稚園	87	3	5	附属小学校	865	27	37	附属中学校	578	15	32					附属特別支援学校	59	9	27	
琉球大学教育学部																				
				附属小学校	613	20	28	附属中学校	477	12	25									

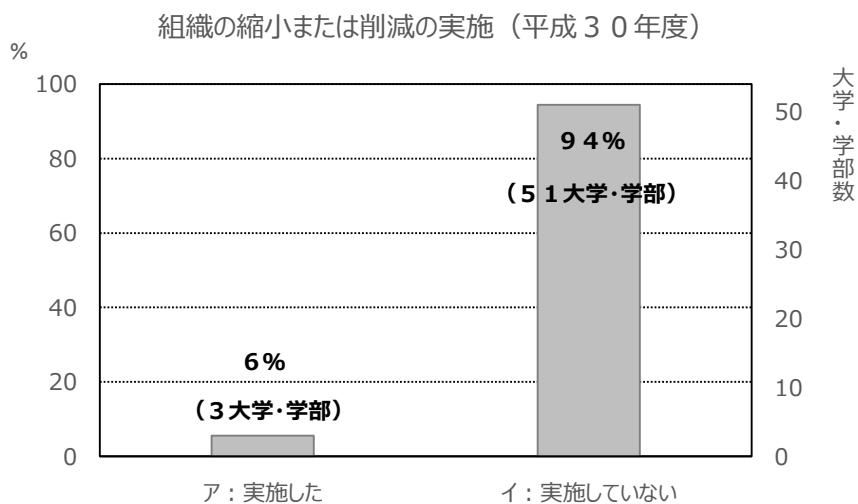
その他（一貫校など）

大学・学部名		生徒数	学級数	教員数
東京大学教育学部	附属中等教育学校	720	18	43
東京学芸大学	附属国際中等教育学校	723	24	62
福井大学教育学部	附属義務教育学校	740	21	41
京都教育大学	附属京都小中学校（特別支援学級6クラス含む） (内訳) 前期課程586名 21クラス 後期課程276名 12クラス	862	33	56
神戸大学	附属中等教育学校	849	24	57
奈良女子大学	附属中等教育学校	717	18	43

附属学校園数内訳

附属幼稚園	51
附属小学校	70
附属中学校	70
附属高校	13
附属特別支援学校	45
一貫校など	6
合計	255

2 附属学校園の組織の縮小または削減の実施（平成30年度）

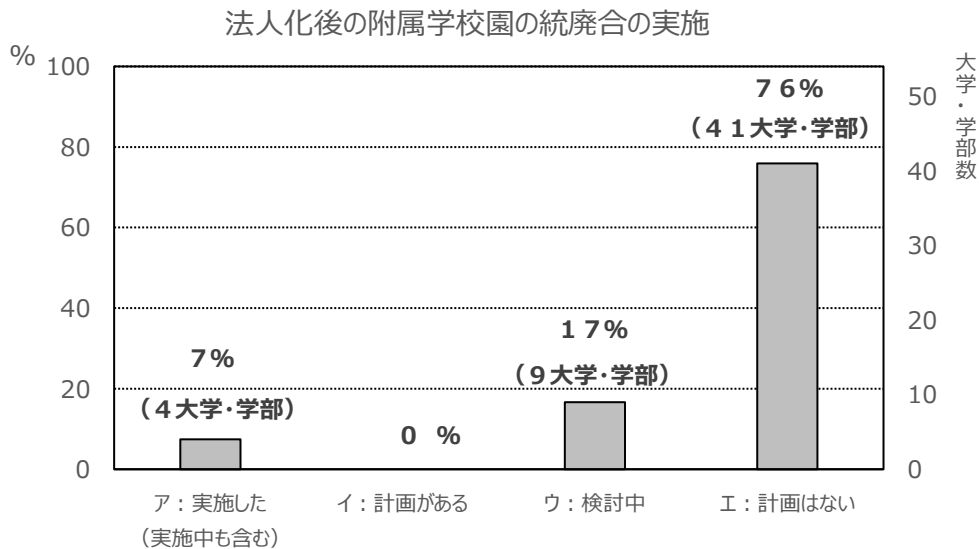


ア：実施した3大学・学部、およびその内容と理由

大学・学部名			
	附属学校園名	縮小等の内容	理由
信州大学教育学部			
	附属幼稚園	平成30年度に1学級減（内訳：年中1学級30名減とし、年少30人学級を15人2学級とした。）	3年保育が主流であり、4歳児からの入園希望者が減ったため、充足率の関係から4歳児の募集を停止し、4歳児を2学級から1学級へと減らした。また、年少は、少人数にしてよりきめ細やかに指導したいため、30人を15人の2学級とした。
愛知教育大学			
	附属名古屋小学校	1年生の学級数を4クラスから3クラスに変更	学年単位により異なる変則的な学級編成を解消するため。
島根大学教育学部			
	附属幼稚園	年少2学級を1学級とした。	

I - 2 統廃合、学級数・学級定員数の検討

1 法人化後の附属学校園の統廃合の実施



ア：実施した4大学・学部、およびその内容

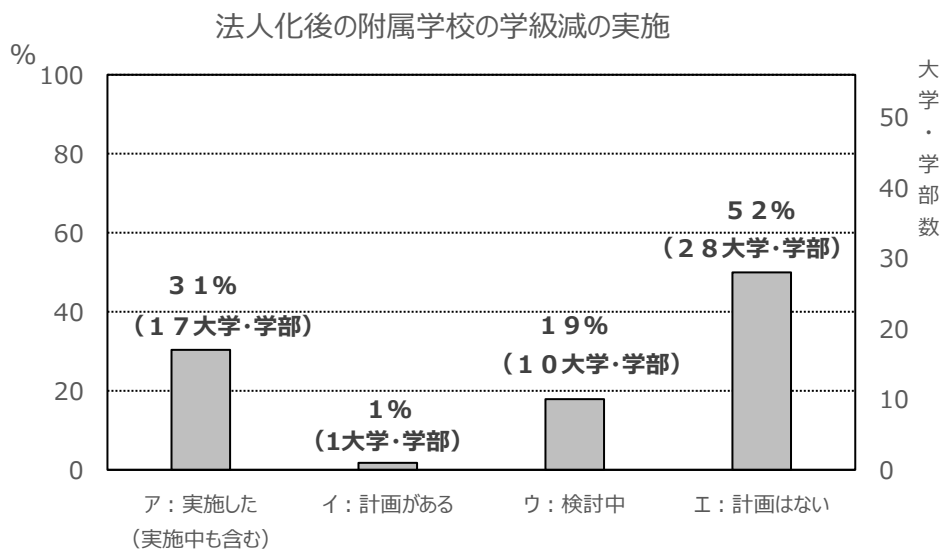
東京学芸大学	<中等教育学校> 附属大泉中学校と附属高等学校大泉校舎を統合し附属国際中等教育学校とした。
福井大学教育学部	<義務教育学校> 附属小学校及び附属中学校は、附属義務教育学校へ移行したため、学校数が2から1に変更となった。
京都教育大学	<義務教育学校> 附属京都小学校及び附属京都中学校は、義務教育学校（学校名：附属京都小中学校）へ移行したため、学校数が2から1に変更となった。 ただし、学級数や教員数等の縮小等はない。
神戸大学	<中等教育学校> 学部附属であった幼稚園1園、小学校2校、中学校2校及び特別支援学校1校を、大学附属の幼稚園1園、小学校1校、中等教育学校、新規1校及び特別支援学校1校に再編

ウ：検討中の9大学・学部、及びその内容

北海道教育大学	附属釧路小学校と附属釧路中学校の義務教育学校化について検討中である。
岩手大学教育学部	平成29年10月以降、学部内で附属学校の校長の専任化、学級数、教員数について検討を行っているが、まだ成案には至っていない。
横浜国立大学教育学部	検討する予定である。
信州大学教育学部	幼小中一貫校の可能性について検討している。
岐阜大学教育学部	平成32年度から小中一貫義務教育学校化を検討中

静岡大学教育学部	浜松小学校、浜松中学校について、義務教育学校への移行を検討している。
大阪教育大学	現時点では具体的な計画はないが、将来構想の中で検討することになると考えている。
広島大学	学内の附属学校園の機能強化を検討する会議の中で統廃合に関しても検討している。
香川大学教育学部	以前より、附属坂出学園（幼稚園、小学校、中学校）の連携に関して様々な議論があった。また連携校としての一貫カリキュラムの研究開発指定を受けた実績もある。将来的に連携校とする構想案もあった。現在それを素案に再検討を進めている。

2 法人化後の附属学校園の学級減の実施



ア：実施した（実施中も含む）17大学・学部、およびその内容

弘前大学教育学部	<附幼>：平成24年度まで3歳児1学級20名、4歳児2学級70名及び5歳児2学級70名の定員としていたが、平成27年度から完全3年保育（3歳児2学級30名、4歳児1学級30名及び5歳児1学級30名）とするため、平成25年度から定員の学年進行を行った。この過程において、平成25年度に3歳児2学級30名、4歳児1学級30名、5歳児2学級70名とし、平成26年度から3歳児2学級30名、4歳児1学級30名、5歳児1学級30名の定員で、1学級減となった。
秋田大学教育文化学部	<附幼>：完全3年保育への移行のため5学級から4学級へ減
山形大学	<附幼>：3歳児1学級増・4歳児1学級減（平成22年度） 5歳児1学級減（平成22年度） <附小>：1・2複式学級の廃止（平成22年度） <附小>：5・6複式学級の廃止（平成26年度）
福島大学	<附小>：24学級→20学級（35人対応のため3～6学年毎1学級削減）

筑波大学	<特支>：筑波大学附属聴覚特別支援学校の幼稚部の学級数を平成29年度入学より1学年3学級から1学年2学級に縮小した。
群馬大学教育学部	<附小>：それまで1学年4クラスだったところを、平成22年度に入学した学年から、1学年3クラスになるようにした。
千葉大学教育学部	<附小>：平成16年度からの入学定員を、それまでの160名から120名に減員し、平成21年度までに全学年が定員を40人として3学級体制となった。 <附中>：生徒数は、平成17年度入学の1年生から順次減らし、平成19年度に各学年5クラス（計15クラス）を各学年4クラス（計12クラス）に一斉に変更した。
東京学芸大学	<附小>：附属学校に求められている、国の教育政策の推進に寄与する「拠点校」としての役割、地域の教育の「モデル校」としての役割を追求していくため、附属小金井小学校の入学定員の見直し（1学年児童数160人→120人(40人減：1学級減)）を行い、弾力的なクラス編成や教科内容に応じた少人数指導の実施等、教員を柔軟に配置し、児童にキメ細かい指導を行う体制を構築するため、平成22年度から学年進行により実施
山梨大学教育学部	<附幼>：平成16年度に教員削減のため、附属幼稚園の学級1・教員1名の減
信州大学教育学部	<附中> <附小>：附属長野中学校で3年間、附属長野小学校で6年間かけて、学級をそれぞれ1学級減とした。 <附幼>：平成30年度1学級減（内訳：年中1学級30名減とし、年少30人学級を15人2学級とした）、平成31年度1学級減とする。
愛知教育大学	<附小>：附属名古屋小学校の1年生の学級数を4クラスから3クラスに変更した。
神戸大学	<附小> <附中>：小学校2校33学級を小学校1校12学級に、中学校2校21学級を中等教育学校1校18学級に再編中
鳥取大学	<附幼>：（平成24年度）学級数6学級→5学級に変更（全定員数130人） （平成25年度）5学級→4学級に変更（全定員数90人）
島根大学教育学部	<附幼>：平成30年度から 年少2学級を1学級とした。
岡山大学教育学部	<附小>：3学級+複式1学級 → 3学級
広島大学	<附幼>：平成27年度から三原幼稚園の4、5歳児の学級数を2から1へ削減した。
長崎大学教育学部	<附中>：平成21年度から、1学年の学級数を5クラスから4クラスに減らし、学年進行で平成23年度には1～3学年で学級数はすべて4クラスになった。

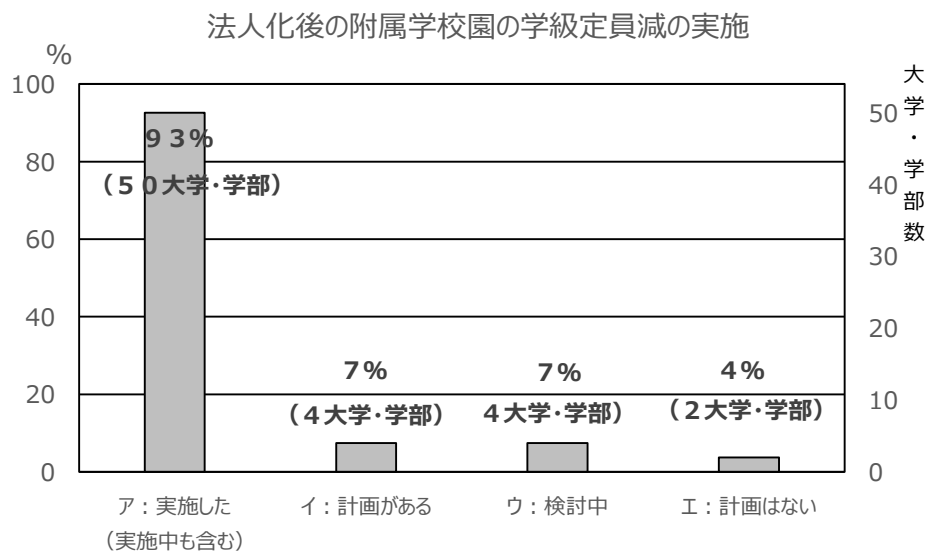
イ：計画がある1大学・学部、およびその内容

和歌山大学教育学部	<附小>：平成31年度から単式学級の学級数1減を年次進行させる。
-----------	----------------------------------

ウ：検討中の10大学・学部、およびその内容

岩手大学教育学部	平成29年10月以降、学部内で附属学校の校長の専任化、学級数、教員数について検討を行っているが、まだ成案には至っていない。
宇都宮大学教育学部	検討中
岐阜大学教育学部	<附小> <附中>：小学校は学年ごとに3学級あり、中学校は学年ごとに4学級ある。学級減を検討中
静岡大学教育学部	<附小> <附中>：浜松小学校、浜松中学校の義務教育学校への移行にあたり、中学校の学級数を小学校に合わせて3学級から2学級に減少することも選択肢の一つとして検討している。
京都教育大学	附属学校改組委員会を立ち上げ、検討を開始した。
大阪教育大学	現時点では具体的な計画はないが、将来構想の中で検討することになると考えている。
兵庫教育大学	国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議の報告、近年の入学状況、地域の状況等を踏まえ、学内会議において、附属学校の規模、在り方や役割などに関する検討を行っている。
広島大学	学内の附属学校園の機能強化を検討する会議の中で学級減に関しても検討している。
長崎大学教育学部	<附幼>：現在、学級数を検討中
鹿児島大学教育学部	第3期中期目標期間中に年度計画に記載した附属学校園の規模に関する課題の検討結果を出す予定

3 法人化後の附属学校園の学級定員減の実施



ア：実施した（実施中も含む）50大学・学部、およびその内容

北海道教育大学	<p><附幼>：附属幼稚園の保育内容を質・量ともに充実する見直しを行うとともに、きめ細やかな指導実現のため、附属旭川幼稚園（学級数3）及び附属函館幼稚園（学級数3）の4歳児の定員を10名、5歳児の定員を10名削減した（総定員数としては180名から140名となった）。</p> <p><附小>：附属小学校（札幌、旭川、釧路、函館の4校）については、平成24年度から、1学級あたりの定員を35名としている。</p> <p><附中>：附属中学校（札幌、旭川、釧路、函館の4校）については、平成26年度から、1学級あたりの定員を35名としている。</p>
弘前大学教育学部	<p><附小>：平成24年度から第1学年の単式学級の定員を、1学級40名から33名とした。</p> <p><附中>：平成27年度から第1学年の学級の定員を、1学級40名から33名とした。</p>
岩手大学教育学部	<p><附中>：附属中学校の学級定数を、平成30年度から学年進行で40名から35名に削減した。</p>
宮城教育大学	<p><附小>：学級定員数を36人→30人に減（平成24年度第1学年から順次学年進行により平成29年度完成）</p>
秋田大学教育文化学部	<p><附幼>：（平成27年度～）3歳児20名から16名（20名1学級⇒16名2学級）、4歳児35名から32名（35名2学級⇒32名1学級）、5歳児35名から32名（35名2学級⇒32名1学級）</p> <p><附小>：（平成24年度～）平成24年度定員40名3学級⇒定員35名3学級、平成27年度定員32名3学級</p> <p><附中>：（平成30年度～）定員40名3学級⇒定員36名3学級</p>
山形大学	<p><附幼>：3歳児24名→30名（平成19年度） 3歳児30名→34名／4歳児30名→34名：2学級×30名→1学級×34名 （平成22年度） 5歳児2学級×60名→1学級×34名（平成23年度）</p> <p><附小>：40名→34名（平成22年度から学年進行／平成27年度完成）</p> <p><附中>：40名→34名（平成28年度から学年進行／平成30年度完成）</p>
福島大学	<p><附小>：120名→105名（40→35人対応）</p> <p><附中>：160名→140名（40→35人対応）</p>
茨城大学教育学部	<p><附中>：学級定員数を40名から36名に削減した。</p>
筑波大学	<p><附小>：筑波大学附属小学校の学級定員数を学年進行で1学級40名から1学級32名に縮小している（平成31年度入学において全学年が1学級32名になる予定）。</p>
宇都宮大学教育学部	<p><附中>：平成30年度から中学校の学級定員を40名から36名に変更</p>

群馬大学教育学部	<p><附幼> : (22年度から) 定員を156名から140名に減らした(年少の定員を8名増、年中・年長を各12名減)。</p> <p><附小> : (24年度から) それまで1クラスの定員が40名だったところを、平成24年度に入学した学年から、定員を35名に削減した。</p> <p><附中> : (28年度から) 平成28年度定員40名から35名(1学年)、平成29年度定員40名から35名(1・2学年)、平成30年度定員40名から35名(1・2・3学年)</p>
埼玉大学教育学部	<p><附小> : 学級定員数を40名から35名に移行した(平成25年度)。</p>
千葉大学教育学部	<p><附小> : 平成24年度からの入学定員を、それまでの120名から105名に減員し、平成28年度には、1～5年生の学級の定員は35名、6年生の学級の定員は40名となり、平成29年度からは、全学年の学級定員が35名となっている。</p> <p><附中> : 平成25年度から各学級の定員を43名から38名(一般生40名+帰国生3名から一般生35名+帰国生3名)とした。なお、学級は一般生と帰国生の混合学級である。</p> <p><附幼> : 平成25年度以前は3歳児から5歳児全園児のトータルの定員が160名だったが、平成25年度新入園児から徐々に定員を減らし、各クラス28名とした。平成27年度から、全クラス28名になり、トータルの園児数が140名になった。</p>
東京学芸大学	<p><附小> <附中> : 平成23年度から実施された公立小学校1年生の学級定員35名化を受け、本学の各附属小学校も平成24年度から学年進行で学級定員の35名化を進めてきた。平成29年度には附属小学校全学年で学級定員が35名となった。平成30年度から附属中学校へ進学するのに合わせ学年進行で附属3中学校の学級定員も35名に減らし、小中連携の一層の推進を可能とし、細やかな指導を実現するもの。</p>
お茶の水女子大学	<p><附幼> : 平成24年度から附属幼稚園の4歳児入園定員を10人削減の60人とした。</p> <p><附小> : 平成24年度から附属小学校の入学定員を15人削減の105人(3クラス×35人)とした。</p> <p><附中> : 平成24年度から平成30年度までに附属中学校の入学定員を段階的に15人削減の105人(3クラス×35人)とした。</p>
山梨大学教育学部	<p><附小> : 平成24年度入学児童から、附属小学校定員を120名から105名に変更</p>
新潟大学教育学部	<p><附小> : 平成23年4月に「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の一部が改正され、公立小学校第1学年の学級編制の標準が40人から35人に引き下げられた。それに準じて、本学においても、きめ細かで質の高い教育の実現に資するため、平成24年度から小学校第1学年の学級定員を35人に引き下げ、平成29年度には、小学校全学年学級定員数35人を実現した。</p>
上越教育大学	<p><附小> : 平成24年度から学年進行で1学級40人を35人に引き下げた。</p> <p><附幼> : 平成24年度から4歳児1学級を35人から30人に、平成25年度から5歳児1学級を35人から30人に引き下げた。 平成30年度から学年進行で3歳児20人、4歳児30人、5歳児30人から3、4、5歳児ともに24人に変更する。</p> <p><附中> : 平成30年度から学年進行で1学級40人から35人に引き下げる。</p>
富山大学人間発達科学部	<p><附小> : 平成24年度から学年進行により、附属小学校の学級定員を1学年40人から35人とした。</p>

金沢大学人間社会学域 学校教育学類	<p><附小> : 平成24年度 1年生 120名 ⇒ 105名、 平成27年度 2年生、3年生、4年生 40名 ⇒ 35名 3年生、4年生の複式学級 40名 ⇒ 12名、 平成28年度 5年生 40名 ⇒ 39名、 平成29年度 6年生 40名 ⇒ 39名</p> <p><附幼> : 平成28年度 3歳児 20名 ⇒ 24名、 4歳児 2クラス計70名 ⇒ 48名 (1クラス 40名 ⇒ 24名)、 5歳児 2クラス計70名 ⇒ 48名 (1クラス 40名 ⇒ 24名)</p>
福井大学教育学部	義務教育学校後期課程・7年生について、40名×3クラスから35名×3クラスへの定員減を実施した。
信州大学教育学部	<p><附小> : 平成24年度から附属松本小学校において1学級定員を40人から35人へ減じた。また、平成25年度から附属長野小学校も同様に40人から35人へ減じた。両校とも総定員は420名となった。</p>
岐阜大学教育学部	<p><附小> : 平成23年4月1日に改正された「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」による、学級編制35人に対応するため、小学校新1年生の学級定員数を順次35名にした。</p>
静岡大学教育学部	<p><附小> : 静岡小学校、浜松小学校について、平成24年度入学生から1学級当たりの定員を40人から35人とした。</p> <p><附中> : 静岡中学校、浜松中学校、島田中学校について、平成30年度入学生から1学級当たりの定員を40人から36人とした。</p>
愛知教育大学	<p><附幼> : 4歳児及び5歳児の学級定員を30人から25人とした。</p> <p><附中> : 附属名古屋中学校及び附属岡崎中学校の1学年の学級定員を40人から36人とした。</p>
三重大学教育学部	<p><附幼> : 平成26年度より5歳児クラス、4歳児クラスともに定員35名から30名に減じた。それぞれ2クラスを有しているため、総数で20名の減となっている。</p>
滋賀大学教育学部	<p><附中> : 40人 → 36人 (平成30年度から)</p> <p><附幼> : 4歳児36人 → 24人 (平成30年度から) 5歳児 36人 → 24人 (平成31年度から) * 2年保育児定員32人を16人に変更</p>
京都教育大学	<p><附小> <附中> : 附属京都小学校 [当時] (普通学級)第1学年40人定員→30人定員(平成24年4月1日)、附属桃山小学校(普通学級)第1学年40人定員→35人定員(平成24年4月1日) なお、附属京都小学校 [当時] (通常学級)第1学年30人定員を32人定員へ変更(平成25年4月1日)、小中一貫に伴い、附属京都中学校 [当時] の入試を廃止し1学年40人定員を32人へ変更 (平成26年4月1日)</p> <p><附幼> : 4歳児・5歳児学級 (各2クラス) 35人定員を30人定員へ変更 (平成28年4月1日学年進行により完成)</p>
大阪教育大学	<p><附小> : 平成24年度入学生から、小学校の学級定員減 (40人→35人) を実施した。</p> <p><附中> : 平成30年度入学生から、中学校の学級定員減 (40人→36人) を実施しているところである。</p>

神戸大学	<p><附小> : 25年度より、小学校において学年進行で35人学級を実施（40人からの定員減）</p> <p><附中> : 27年度より、幼稚園において学年進行で20人学級を実施（25人からの定員減）</p>
奈良教育大学	<p>平成30年度より、定員を以下のとおり改定した。</p> <p><附幼> : 3歳児24名 4歳児30名（2クラス） 5歳児30名（2クラス）を、3歳児24名 4歳児24名（2クラス） 5歳児24名（2クラス）に改定</p> <p><附中> : 1学年160名（40名×4クラス）を、1学年136名（34名×4クラス）に改定</p>
奈良女子大学	<p><附小> : 平成24年度から附属小学校の学級定員を40名から35名にした。</p> <p><附幼> : 平成27年度から、附属幼稚園において2年保育の募集を停止し、3年保育のみの募集とし、学級定員を30名から24名に減員した。</p>
和歌山大学教育学部	<p><附小> <附中> : 附属小学校では平成24年度に全学年で1クラスの児童数が30人、附属中学校では平成27年度に全学年で1クラスの生徒数が35人となった。</p>
鳥取大学	<p><特支> : （平成18年度）附属特別支援学校の高等部専攻科新設（定員6人）に伴い、小学部3学級18人→2学級12人に変更（全定員数変更なし）</p> <p><附幼> : （平成23年度）附属幼稚園の3歳児1学級定員20人→2学級30人に変更（全定員数170人）、平成24年度4歳児2学級70人→1学級30人に変更</p> <p><附小> : （平成24年度）附属小学校の1年生1学級定員を40人から35人に変更（全定員数：平成23年度480人→平成26年度420人）</p> <p><附中> : （平成26年度）附属中学校の1年生1学級定員を40人から35人へ変更（全定員数：平成25年度480人→平成28年度420人）</p>
島根大学教育学部	<p><附幼> : 平成30年度から 40人から25人に削減</p>
岡山大学教育学部	<p><附小> : H21年度33人→36人、H24年度36人→35人</p> <p><附中> : H27年度40人→36人</p>
広島大学	<p><附小> : 平成24年度から広島大学附属小学校、広島大学附属東雲小学校、広島大学附属三原小学校の第1学年の単式学級を1学級32人とし、順次学年進行を行った。</p> <p><附幼> : 平成27年度から附属幼稚園の4、5歳児の定員を35名から30名に削減した。同じく三原幼稚園の4、5歳児の定員を70名から30名に削減した。</p>
山口大学教育学部	<p><附幼> : 平成27年度より、きめ細かな保育を可能とするため、4・5歳児の学級定員数を35名から25名にした。</p> <p><附小> : 附属山口小学校と附属光小学校では平成24年度より、学級定員数を40名から公立学校の学級定員数に合わせて35名にした。</p> <p><附中> : 附属山口中学校では平成24年度より、附属光中学校では平成25年度より、学級定員数を40名から公立学校の学級定員数に合わせて35名にした。</p>
鳴門教育大学	<p><附幼> <附小> : 平成24年度から</p> <p><附中> : 平成30年度から</p>

香川大学教育学部	<p><附小> <附幼> : 平成24年度から高松小学校と坂出小学校の学級定員を40名→35名 " 附属幼稚園も3歳児定員を20名→18名、4歳児及び5歳児定員を35名→30名 " 幼稚園高松園舎の4歳児及び5歳児定員を35名→30名</p> <p><附中> : 平成30年度から高松中学校及び坂出中学校の学級定員を40名→35名</p>
愛媛大学教育学部	<p><附中> : 平成30年度より1クラス40名から32名に定員減とした。</p>
高知大学教育学部	<p><附小> <附中> : 平成24年度から小学校・中学校で、1クラス40名から35名に定数減を実施 <附幼> : 平成28年度から幼稚園で、160名(3歳児1学級20名、4歳児2学級70名、5歳児2学級70名)から124名(3歳児1学級28名、4歳児2学級48名、5歳児2学級48名)に定員減を段階的に実施</p>
福岡教育大学	<p><附小> : 「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の改正により小学校第1学年の1学級の児童の数の標準が改正されたことに伴い、平成24年度新入生より本学附属福岡小学校、小倉小学校及び久留米小学校の1学級の児童数の標準を従来の40人から35人への変更を行った。</p>
佐賀大学教育学部	<p><附中> <附小> : 附属中学校の学級定員を40名から36名に平成30年度から削減。この削減は主として平成24年度から実施した附属小学校の35人学級が平成29年度に全年35人体制となることに伴って実施</p>
長崎大学教育学部	<p><附中> : 平成21年度から、1学年の学級定員を40名から35名に減らし、学年進行で平成23年度には1～3学年で学級定員がすべて35名になった。 <附幼> : 平成21年度から、年中70名(2クラス)→60名(2クラス)、年長70名(2クラス)→60名(2クラス)になった。</p>
熊本大学教育学部	<p><附幼> : 3歳児の入園希望者は過去5年間減少しておらず、増加計傾向にある。今後も3年保育を希望する家庭は多く3歳児受験者は減らない傾向が続いている。また、その一方で、4歳児クラスの入園希望者(受験者)は平成22年度を境に減少傾向にある。3年次保育が主流となった現在、3歳児で本園に合格しなかった家庭は他園に入園させるため、4歳児の受験は今後も少ないことが予想される。縮小の内容は、平成29年度から3カ年かけて定員を160名(H28年度)から140名(H31年度)に変更する計画を実施中である。今年度は改定2年目にあたり、4歳児(3年保育)定員を10名増やして30名(+10)とし、5歳児(2年保育)の定員を25名減らして25名(-25)とし、全体として15名減の130名定員(-15)となっている。なお、本計画は平成31年度に完了し、定員は3年保育90名(3、4、5歳各30名)、2年保育50名(4、5歳各25名)、合計140名になる予定である。</p>
大分大学教育学部	<p><附小> : 平成24年度から小学校1学級35人定員とした。 <附幼> : 平成29年度から幼稚園3歳児1学級32人定員、4歳児(2学級)1学級28人定員、5歳児(2学級)1学級28人定員とした。</p>
宮崎大学教育学部	<p><附小> : 入学定員を平成24年度から105人に減らした(それまでは120人)。 <附幼> : 入学定員を平成25年度から2年保育32人に減らした(それまでは50人)。平成28年度から2年保育20人に減らし(それまでは32人)、3年保育28人に増やした(それまでは20人)。</p>

鹿児島大学教育学部	<附小> : 平成24年度から実施済み <附中> : 平成30年度から入学定員を20人削減
琉球大学教育学部	ア・ウ : <附小> : 附属小学校の募集定員を平成24年度から120名から105名としたが、現在さらに具体的数値を含めて検討中です。

イ : 計画がある4大学・学部、およびその内容

埼玉大学教育学部	<附中> : 学級定員数を40名から35名に移行予定 (平成31年度予定)
横浜国立大学教育学部	<附中> : 平成31年度より中学校の学級定員について、1学級40名から35名にする予定である (帰国生徒定員1学年15名は変更なし)。
山梨大学教育学部	<附中> : 平成31年度入学生徒から、附属中学校定員を160名から144名に変更することを計画中
岐阜大学教育学部	<附中> : 中学校学級編制40人から35名にする。

ウ : 検討中の4大学・学部、およびその内容

兵庫教育大学	国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議の報告、近年の入学状況、地域の状況等を踏まえ、学内会議において、附属学校の規模、在り方や役割などに関する検討を行っている。
広島大学	学内の附属学校園の機能強化を検討する会議の中で学級定員減に関しても検討している。
長崎大学教育学部	<附幼> : 現在、定員数を検討中
琉球大学教育学部	<附中> : 1クラス36人学級を検討している。